

Casa

BRUTUS®

よくわかる!!
現代建築の基礎知識。

世界を感動させる、妹島和世×西沢立衛

SANAAのすべて。

サナア

このチーズみたいな巨大建築はなに!?

ヴェネチアビエンナーレ徹底ガイド。
日本一の「栗のお菓子」を探せ!
今年の『東京デザインウィーク』の見どころは?

11

2010 vol.128
NOVEMBER
定価 880円

Tokyo midorie project

6

ミドリのある暮らし

銀座の灯りで育ちます。 三越の壁に植物が息づいた。

9月11日に増床オープンした銀座三越に、サントリー《midorie(ミドリエ)》の壁面緑化が。今回は大がかりな壁面緑化なのです。

photo _ Sakiko Nomura, Yoichiro Kikuchi text Yuka Sano

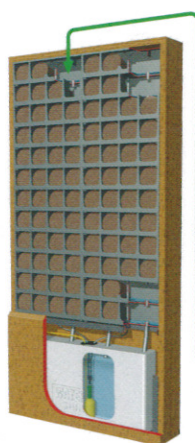
増床した1階東側のウィンドウ。晴海通りに面して、植物を植えた仕器が並ぶ。裏側は鏡になっていて、緑は店の外からしか見えない。



壁面緑化 花のかべ

サントリー《ミドリエ》が開発した「バフカル」を使って、土がなくても植物を育てることができる。給水もムラなくできる。「花のかべ」とはいえ、花だけでなく、さまざまな植物を植えることが可能。植え替えも簡単だ。照明が当たっていれば、太陽光がなくても育つ。

システムの構造。水は給水チューブを伝って上に持ち上げられ、バフカル苗に給水。設定水位に達したら、順に下段に落ちていく。



従来の植栽と、「緑化」の違いは何か。それは植物を、建物から生やそうと試みたことだろう。屋上から、あるいは壁から。その結果、壁をペンキで塗る、クロスを貼る、と同じように、「壁に植物を植えてみる」という選択肢が生まれたわけだ。それはインテリアにも波及して、「えっ、こんなところに生の植物?」と、見る人を驚かせる。

この9月11日に増床オープンして話題の、銀座三越。ここにも「緑化」はさりげなく、かつしっかりと取り入れられている。増床

した1階東側のウィンドウ仕器と、M2階の宝飾店脇の壁面に、フサフサと植物が生えている。今回、新たに屋内外を一体化した憩いの場「銀座テラス」を9階に設けた三越。内装でも関連をもたせたいという意向を汲んだデザインだ。内装を設計しているギャルド ユウ・エス・ピイの梶原章は、サントリー《ミドリエ》の緑化システムを採用して、この仕上げを実現。何しろ太陽光がなくても、ちゃんと育つというのだから。これからは店舗同様、銀座の灯りで大きくなっていく壁の緑にも注目を。



M2階の宝飾品売場の壁面。季節に関係なく楽しめる植物を選んでいる。給水は店舗のスタッフが担当。定期的に「ミドリエガール」がやってきて様子を見てくれる。

銀座三越

開店は1930年。銀座四丁目の顔として親しまれてきた。今回の増床オープンで既存の館と新しい館を一体の建物とし、店舗面積は36,000㎡に。●東京都中央区銀座4-6-16 ☎03・3562・1111。10時〜20時（フロアにより異なる）。年内無休。



上／2008年完成の西宮阪急。梶原氏が総合ディレクション、基本構想、基本設計を務める。下／TASAKI銀座本店。ギャルドは、東京のほかに、海外にも拠点を構える。



梶原 章

かじわらあきら ギャルド ユウ・エス・ビー執行役員兼デザイン事業部ジェネラルマネージャー。ラグジュアリーブランド店舗や大型商業施設の環境ディレクションおよびデザインプロジェクトディレクターを務める。これまでにコレド日本橋、H&Mなど。2011年には基本計画を手がける阪急百貨店博多店、12年には同じくうめだ新本店が完成予定。

